

1 学校教育目標【校訓：みんな 仲よく 力いっぱい】

知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童を育てる

<めざす児童像> 進んで学ぶ子(知) 心豊かな子(徳) 力いっぱいがんばる子(体)

Happy Hatcho <笑顔あふれる素敵な学校>

～ふるさと八町を愛し、仲間と夢中になって学ぶ「地球市民」の育成～

※「50年後の未来へー地域と共に豊かな土壌を持続していく」

2 学校経営の方針

(1) 夢中になって学び、自らに適した学び方を身につけ、活用できる確かな学力を育成する。

・基礎基本の定着(学習内容と学び方)

「読み、書き、計算」を中心に、繰り返し練習し、学び方を含めた基礎基本の徹底を図る。

ICT端末の日常的な活用推進と使い方指導の両立を図る。

・「外国語(英語)・外国語活動」「イマージョン教育」の実践の深化と質の向上

今までの教育実践の蓄積と授業等の改善、持続可能な体制の構築を図る。

イマージョン教育の良さを学校全体で共有する。

・個別最適の学びと主体的・対話的で深い学びの研究推進「八町小型板書授業案」改善推進

学校と家庭の連携で個別最適な学びの充実と、子どもの興味・関心を喚起する授業づくりに取り組む。

(2) 「四つの花」を大切に、豊かな心と良好な人間関係を築く力を育成する。

・児童、職員の well-being の実践により温かな学級集団、地域、PTA との良い関係づくりに取り組む。

児童に豊かな表情で温かく接するために教職員自身の「Well Being」の実践と児童の自己肯定感を高める取り組み、社会的スキルの向上を目指し、一人一人を大切にする温かな学級づくりに取り組む。

・道徳教育の充実

道徳の時間の確保と教師の指導技術の向上に努める。八町小独自の道徳授業方法の確立

・異年齢集団、地域交流等の活性化

たてわり活動の充実、地域の方々等との交流を企画する。特色あるカリキュラムの改善

八町小の4つの花「あいさつ」「思いやり」「感動」「勤労」を大切にする。

(3) 運動を楽しみ、体力向上に励み、健康・安全への意識と習慣を育む。

・運動習慣、体力づくり、けが防止

年間を通して、体を動かし鍛えるための、環境の構築、長放課の実施および教育課程の改善を図る。

・安全意識の高揚と自分の命を守る実践力の向上

子どもの安全意識の高揚を図り、事故や大きなけがの防止に努める。

・より健やかで安全な生活習慣の確立

「あしたもははは」を柱に、健康に留意した、規則正しい生活習慣を身につけさせる。

(4) 専門性と組織力を備え、情熱を持って目標達成に邁進する教職員集団となる。

・教職員の指導力、授業力の向上

教職員研修の充実に努め、個人の力量向上を図る。先進校授業参観の推進。

・一人一人を生かす(活躍させる)授業の工夫と教育活動

個々の子どもの考えや思いを大切に、子どもが個性を発揮し、子どもの活躍の機会、自己決定の機会を増やし、自己肯定感を高める。教職員による適切な支援と承認、賞賛。

・風通しの良い職場と教職員の共通理解

職員会議、打ち合わせ等での計画の共通理解、計画の検討と十分な準備時間を確保する。

定時退校、計画年休等、働き方の意識改革を推進する。

(5) 家庭・地域から信頼され、地域と共に児童の健やかな成長を支える教育活動を創造する。

・学校の方針や情報を保護者や地域に適切に発信

「HP」「メール配信」による学校情報の発信とアンケート等における「Googleform」の活用を推進する。

・コミュニティ・スクール(「地域と共にある学校」)の推進と持続可能な体制の構築

歴史と伝統で結ばれた地域の教育力、教育資源を積極的に活用し、誇りのもてる地域・学校づくりを推進し、持続可能な体制を構築する。

①「学校運営協議会」で学校改善に向けての熟議の展開、②特色あるカリキュラム(あすなろカリキュラム)とPDCAサイクルによる改善、③ESD・SDGsの取り組みの活性化、④「八町サポーター」の登録、⑤「八町サポーター」による児童の見守り、行事・授業支援など「地域学校協働活動」の推進